

令和7年度 沼木敬寿園
小規模多機能型居宅介護 サービス評価

- ◆外部評価
事業所自己評価 (事①～⑨)

- ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 11 月 12 日 (19 : 30~21 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	11 人	1 人	0 人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・ 初期支援の記録を手書きではなく PC 入力に変更する。・ 記録時間の短縮を図り利用者に関わる時間を増やせるように取り組む。・ 記録をデータ管理し、軽微なことでも入力しながら振り返り、その後のケアに活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・ 手書きから PC での入力に変更したことで、時間短縮、データ保管での振り返りがしやすくなった。・ 初期支援時に気付きや対応結果などについて入力をしているが、ニーズを明確にとらえた上で取り組んだ方が、より意図を持った密な関りを持てるのではないかと。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2 人	10 人	2 人	0 人	14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3 人	10 人	1 人	0 人	14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4 人	10 人	0 人	0 人	14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4 人	9 人	1 人	0 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 初期支援について、現在は PC 入力をするにより時間短縮と共に、より多くの情報を打ち込むことができた。また、PC 入力に変更したことで利用中の様子を把握しやすく振り返りがしやすくなった。・ 新規の方や利用して間もない方の不安が軽減するように笑顔で声掛けし、優しく丁寧な声掛けや対応を心掛けた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 初期支援の記録はできているがその後の評価やケアへの活用までには充分に至っていないように感じる。・ ミーティングでの共有が出来ても、ミーティングに参加できない職員への申し送りや共有が不十分な点がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ 利用開始前の本人・ご家族のニーズをより明確に把握し、そこに焦点を当てて初期支援を行っていく。・ 利用開始後の次回のモニタリング会議で振り返りと評価を行い、以降のケアに反映させていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 12日 (19:30~21:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	4人	0人	14人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">個別援助計画や生活の中でのニーズを基にした個別的な支援を今後より進めていきたい。個別援助計画をしっかりと理解し、意図的・意識的な関りを増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">利用者の「～したい」大切にし、楽しみや張り合いに繋がるよう、昨年度よりも個別での関りを大切に支援できた。個別援助計画についての理解について、職員毎にバラツキもあるため、理解を深めていく取り組みを行っていったらどうか。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2人	9人	4人	0人	14人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2人	9人	4人	0人	14人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2人	10人	2人	0人	14人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3人	6人	5人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">個別外出や買い物など利用者のニーズに合わせた個別支援が行えている。以前から食べたいと言っていたお店に行くことが出来て、職員の楽しみにも繋がっている。普段の関わりの中で「～したい」などの本人の話、様子をミーティングや申し送りで伝え、対応の変更等に生かしている。園芸や創作活動にも力を入れ、得意な事や楽しみに繋げることが出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">個別援助計画について、個別に十分に把握できていないと感じることもあった。関りが十分に持てていないと「～したい」をうまく引き出せなかった時もあった。業務中に深く関わる時間を捻出できない時もあった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">個別援助計画に沿った、モニタリングを行い、評価を繰り返しながらニーズや対応の変更などの把握・理解を深めていく。「また来たい」「楽しい」と思ってもらえるよう、個別での関り (外出、園芸活動、個別運動、創作活動、レクリエーション) を大切にしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 11 月 12 日 (19 : 30~21 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	3人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">ちょっとした気づきでも PC 入力できるように入力項目を作り情報量を増やしていく。伝達漏れやミスを防ぐため、情報伝達や申し送り方法についての効率化と工夫を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">入力する項目を細分化し PC に入力することで、情報量が増え、振り返りや確認もし易くなった。情報を自分から収集する習慣があると、より情報の共有が円滑になると思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	2人	4人	8人	0人	14人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4人	8人	2人	0人	14人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3人	8人	3人	0人	14人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5人	8人	1人	0人	14人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6人	6人	2人	0人	14人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">本人の変化に気づいた際には、口頭や PC に記録し情報発信、共有できている。また、緊急を要するものはすぐに相談・対応できている。PC 入力や申し送りノートを活用し、情報の伝達ができている。利用者の想いや変化を汲み取れるように心掛けて関わっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">気づきがあっても、業務に当たっているうちに PC 入力を忘れてしまう事があった。ミーティングに参加していない時に、検討内容や結果の伝達が不十分に感じる事もあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">ミーティングで決まった利用者に関する検討内容や結果は PC に入力することでタイムリーに周知・確認できるようする。ケース記録と申し送りノートを確認してから、ケアに入る習慣を作り、情報共有や伝達漏れを防ぐ。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 12日 (19:30~21:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	2人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">引き続き地域資源について学ぶ機会を作り理解を深めていく。「～したい」の取り組みの中で馴染みの場所や店、地域などに出掛ける機会を取り入れていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">地域資源について勉強会を行った。詳細なイメージにつなげる事が難しく、より学びたいとの声が多かった。個別外出を通して、行きたい店や馴染みの店に出かける機会が増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2人	9人	3人	0人	14人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2人	9人	3人	0人	14人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2人	7人	5人	0人	14人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	9人	4人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">個別で本人の希望や好みの場所へ出掛けたり、馴染みの店での買い物支援などを行っている。近隣の方々の見守りや協力を得ながら自宅で過ごせるよう支援している。施設での催し物に地域の方が来てくれたり、地域の方が施設にボランティアに来てくれている。ケアマネのモニタリング時に自宅での様子を確認し伝達してくれている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">具体的な以前の生活スタイル、人間関係等の把握が難しい利用者や踏み込んだ話を好まない方もおり難しい。通いを利用してない時の日常生活の様子の詳細の把握について、訪問サービスを利用されている方と相でない方では情報量に差がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">来年度の毎月の勉強会の内容を工夫し、地域資源についても深く学ぶ機会を作っていく。地域に出かけたり、地域の方との交流機会を多く持つよう企画・実施していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 12日 (19:30~21:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	3人	0人	14人

前回の改善計画

- ・小規模多機能ならではの柔軟な支援を継続し、多様化するニーズに対応できるように職員の資質向上を図っていく。
- ・ミーティング前後の意見や発信の集約方法、伝達方法を見直していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者の体調やニーズに合わせて柔軟なサービス調整を行っている。
- ・ミーティング前だけでなく、都度タイムリーに提案できる方法があるとより良い。ミーティングに参加していない職員への伝達に工夫が必要だと感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3人	9人	2人	0人	14人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4人	8人	2人	0人	14人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5人	7人	2人	0人	14人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5人	7人	2人	0人	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ミーティングで、利用者の変化や気づき、ケア方法やサービス等について話し合いが出来る。
- ・体調不良や身体状況に変化があった時や家族の要望など、その都度柔軟なサービスや対応が出来る。
- ・宅配弁当の活用や地域の方との連携などを行い、見守りの目を多く出来るよう働きかけている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・サービスの定員があり、必ずしもお応え出来ない事もあるが、代替えのサービスを提案し対応している。
- ・ミーティング前に合わせて意見を集約しているが、日頃から軽微な物でも提案できるといい。考えついても集約前に忘れてしまう時があった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・ミーティングで決まった検討内容や結果はPCに入力する事でタイムリーに周知・確認できるようにする。
- ・日頃の気づきや提案・意見等をタイムリーに出来るような工夫を行なう。(意見箱やツールなど)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 12日 (19:30~21:30)

6. 連携・協働

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	2人	0人	14人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・ 行事の相互参加や外出支援等を通して、社会参加や地域交流の機会を作っていく。・ 関係機関の会議や担当者会議、他事業所との連携などについてのイメージが持てるような取り組みを段階的に進めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・ 前年度よりも地域交流の機会を多く持つことが出来た。・ 担当者会議はじめ、他事業所や関係機関との関りについては職員毎の理解にばらつきがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2人	8人	4人	0人	14人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2人	9人	3人	0人	14人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	6人	7人	1人	0人	14人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4人	8人	2人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 今年度からサロンを再開し、地域の方々が施設を訪れる機会が出来た。・ 地域の子供会との交流や地域行事への参加も積極的に行っている。・ 地域の連絡会や会議、研修会などに参加している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 会議や研修などに参加する職員の幅を広げていきたい。・ 実際に参加していないとなかなかイメージに繋がりにくい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ 地域行事や施設行事の相互参加を通して、地域の方との交流機会を大切にしていく。サロンや地域のイベントに利用者も一緒に参加し、地域の方との交流を深めていく。・ 担当者会議について、ユニット勉強会でロールプレイングを行い、参加した事のない職員にも体験してもらい理解を深めていく。連絡会や研修会などにより多くの職員が参加できるように取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 12日 (19:30~21:30)

7. 運営

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	2人	0人	14人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・ 管理者やリーダーの定期的な面談を継続し、意見や考えをより伝え易い場や環境作りを目指す。・ 認知症カフェや高齢者サロン等への参加を通して、介護や認知症・事業所等の啓発を行い地域貢献の意識を高めて取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・ 定期的な面談をする時間がうまく作れなかったため、継続的・段階的な取り組みには至っていない。・ 認知症カフェや高齢者サロンを通して、介護や看護の講話や日頃の取り組みなどを伝える機会が持てた。町内会のサロンや催しにも参加する機会をいただき、町内会の取り組みを知る機会が持てた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2人	10人	2人	0人	14人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4人	9人	1人	0人	14人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3人	9人	2人	0人	14人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	5人	8人	1人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ 認知症カフェやいきいきサロンなど、施設や事業所として、地域貢献の取り組みを行っている。・ 利用者、家族からの要望や意見はすぐに報告し迅速に対応するようにしている。・ 利用者、家族、地域の方からいただいた意見などはすぐに職員に伝えられ改善に活かされている。・ 管理者、リーダーとの面談を通しユニットの現状や、自分自身を振り返る機会を作ることができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ 認知症カフェやサロンにより多くの職員が参加できると良い。・ 定期的に面談を行う事で、意見や考え、困りごとなどを伝え易くなると思う。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・ 認知症カフェやサロンなど、参加した事のない職員の参加機会を作っていく。・ 計画的にシフトに面談の日程を組み込んで、定期的な面談や対話の機会を確保する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 12日 (19:30~21:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	2人	0人	14人
前回の改善計画		<ul style="list-style-type: none"> 各自学びたい研修や内容、自己課題などを考え、積極的に参加できるシフト調整や環境作りを行う。 ヒヤリハットの提出頻度や内容や精度などリスクマネジメント意識を高められるよう取り組んでいく。 				
前回の改善計画に対する取組み結果		<ul style="list-style-type: none"> 事業所目標に対して、各自個人目標を立て取り組んだ。事業所からの研修の打診が多い状況である。資質向上や日頃の振り返り、他事業所との交流機会の観点からも積極的に研修に参加してほしい。 ヒヤリハットの提出が増え、事故防止の意識が高まっている。 				

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6人	7人	1人	0人	14人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7人	4人	3人	0人	14人
③	地域連絡会に参加していますか	3人	7人	4人	0人	14人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4人	9人	1人	0人	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ヒヤリハットや事故報告書は速やかに提出し、事故発生や再発防止に繋がられている。
- 年間、月間の研修スケジュールでしっかりと管理されている。
- 外部研修や内部研修に参加し、知識や技術を高められるよう取り組んでいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 内部研修について、実施内容が画一的になっており工夫が必要ではないか。
- ヒヤリハットの周知について、重要度・緊急度によっては回覧だけではなく、口頭での申し送りが必要だと思う。
- リスクマネジメントについての研修や勉強会がもっとあっても良いと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 内部研修やユニットの勉強会で学びたい内容を募り、次年度の計画に反映する。
- 各自の資質向上を目指し、積極的に外部研修の参加意識を高めていく。継続してシフト調整を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 12日 (19:30~21:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	2人	0人	14人

前回の改善計画
・研修参加や勉強会、ミーティングでの話し合い等で認知症の理解を深め、対応力の向上を目指していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・認知症の対応力は段階的に向上してきている実感がある。 ・対応に困った時や難しい時など助け合う雰囲気がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11人	2人	1人	0人	14人
②	虐待は行われていない	10人	3人	1人	0人	14人
③	プライバシーが守られている	8人	4人	2人	0人	14人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3人	8人	3人	0人	14人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5人	8人	1人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・身体拘束・虐待防止の研修が行われ、参加している。 ・認知症の方の対応で成功例を周囲に伝えている。 ・認知症の研修やキャラバンメイト研修に参加した。 ・センサー類の使用について、定期的に評価を行っている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・忙しい時など、「待ってください」「座ってください」と口にしてしまう。 ・会議に全員が出席できるわけではないため、参加できない職員への勉強会の内容伝達に課題が残る。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・ユニットの勉強会を継続する。 ・日頃のケアについて、虐待や身体的拘束、グレーゾーン対応等に繋がる可能性がないかを振り返り・評価する機会を作る。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	ご意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な勉強会やオリエンテーションを行い、継続的に学習できる機会を確保しながら、外部評価の理解を深め、サービスの質の向上を目指していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のユニット会議内で外部評価について項目を分けながら勉強会を行い、理解が深まってきている。 ・日頃の取り組みの定期評価を行いながら、振り返りと改善を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のユニット会議での勉強会の取組みを通して、内容の共有や知識の向上に取り組んでいる。また、日々改善の意識を持って取り組んでいるのが分かる。 ・評価に関して、どのような物差しで行っているのか知りたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会や研修等への参加を通して、学びの機会を継続していく。 ・定期評価を行いながら、振り返りと改善を行い、より良い取り組み、サービスの質の向上をめざしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・全体目標に対しての個人目標設定や取り組みを通して、自己成長やサービスの質の向上を目指していく。 ・園芸療法や音楽療法、軽体操をはじめ、習慣や得意な事を大切にしながら、楽しみや役割を持って利用できる環境作りを目指していく。 ・明るい雰囲気の中で、安心して安全に過ごしていただけるよう、挨拶習慣・接遇マナーを大切に組み込んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人目標を定めて取り組む事で、職員の頑張りや課題などを共有しながら取り組みを進めることが出来た。 ・年間を通して、利用者の得意な事や習慣、楽しみ作りを大切に、「楽しい」と感じていただける時間を作れるように心掛けた。 ・元気な挨拶習慣、笑顔での対応を心掛け、取り組んでおり、明るい活気ある雰囲気が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体目標に対して、個人目標を立てて評価する取り組みは素晴らしい。 ・挨拶習慣やコミュニケーションを通して明るい雰囲気が構築されていると感じる。見学の時も感じた。 ・音楽療法や園芸療法を通して、利用者の生活の質が高まり、自己肯定感が高く維持されていく事は評価が大きいと改めて感じた。 ・職員の意識が共有され、利用者の楽しみを大切にした取り組み、明るく活気ある環境作りが出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人目標を立てて、強みや課題の共有を図り、年間を通して自己研鑽に励めるよう取り組んでいく。 ・利用者の楽しみや思いを大切に、個別での関りや支援、各療法の実施を通して「また来たい」と思っただけの事業所を目指す。 ・挨拶や笑顔を大切に、安心して安全に過ごしていただける環境作りに努めていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・外出や行事などを通して、住み慣れた地域や社会と関わりを持ち続けられるように支援していく。 ・地域の連絡会や研修会、福祉会議などに積極的に参加し、情報や意見交換を図り、地域の取り組みや困り事などへの理解を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人外出や買い物支援などを通して、「～したい」や馴染みの関係や場所との関りを持つるように関わることが出来た。 ・地域の連絡会や研修会、会議などに参加し、意見交換や交流を図ることが出来た。参加した事のない職員もおり、参加してみたいとの声があがった。 ・地域・施設行事の相互参加やボランティアの受け入れ等を通して交流機会が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭で利用者の方の作品を見ることが出来た。 ・地域の連絡会や研修会、地域行事と施設行事の相互参加も活発であり、地域や社会との関係性作りを重要視した取り組みが評価できる。 ・子供たちにとっても高齢者との交流機会は、良い経験になっていると思う。 ・外出支援や地域行事参加などを通して関わりが広がっている。今後は職員全体での参加や共有を期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の相互参加や外出支援など、地域との関わりを大切に、地域を身近に感じられるよう支援していく。 ・より多くの職員が地域行事や地域交流の場に参加できる機会を作り、交流や理解を深めていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学の受け入れやサロンへの職員の派遣等を通して、地域の方に施設や事業所を知っていただく事や地域の方への啓発活動を通して、地域貢献の意識を持ち取り組んでいく。 ・SNS の他、お便りの発行などを継続し、日頃の様子や事業所へ関心を持っていただけるように工夫していく。 ・自事業所だけではなく、地域資源の理解を深め、ケアや支援に反映させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はつらつサロンを再開し、地域の方が集まって下さる機会を作ることが出来た。また、町内のサロンや催し物への参加機会をいただき、日頃の取り組みを知ることが出来た。 ・毎月のお便り発行を通して、ご家族へ日頃の様子をお伝えしている。 ・地域資源の勉強会を継続し、理解を深めながら、利用者のケアに結び付けられるように取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はつらつサロンの再開を通して、地域の方々が集まれる場所となり、また反対に事業所の事を知る機会にもなり良かったと思う。町内のサロンへの参加も好感が持てる。 ・地域資源は生活支援コーディネーターに聞いてみると良いと思う。 ・お便りから生き生きとした利用者の表情が見て取れ、安心して過ごされている事が伺えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はつらつサロンを定期的開催し、地域の方々にとって、より身近に感じていただける施設になれるよう取り組んでいく。また、地域貢献の意識を持って、事業所や施設の見学、介護に関する啓発活動を継続していく。 ・地域資源に関する理解が深まっていくよう、学習機会や方法などの工夫を取り入れていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価について委員の方に分かり易く取り組んで頂ける工夫を継続していく。 ・事故防止について、リスク管理や発生予防、再発予防の意識を高く持って、取り組みを継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総括表の定期評価をお伝えする事写真を交えながら、お伝えしイメージし易いように心掛けた。 ・事業所として、事故防止の意識は高まっている。また職員間のコミュニケーションや確認・声かけも増えており、事故防止に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正確に活動の説明をしてくれており、色々な面で向上心を持って、高齢者の為に努力していると感じる。説明と一緒に写真を加えてくれており活動の様子が分かり易い。 ・事故防止の意識が高まり、原因究明や対策をスピーディーに行っており、予防にもつながっていると思う。ヒヤリハットや事故事例は、件数や原因・対策など層別分析を行い、軽度/重度に分けて、ソフト面/ハード面等、傾向的な分析も行いながら、改善を進めてほしい。(年間を通しての情報分析) 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価や事業所の取り組みなど、委員の方々に伝わりやすい方法の検討を重ねていく。 ・事故防止の意識を高く持ち、委員の方々の意見や要望などを参考に取り入れながら、事故発生防止や再発防止の取り組みを継続していく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会との連携(連絡・応援体制)を図り有事の備えを行っていく。 ・業務継続計画を基に研修やシュミレーションを重ね、職員の理解や対応力の向上を目指していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なケース(水害・地震・火災等)を想定した防災訓練や非常時の連絡訓練等を行っている。 ・施設全体での研修やシュミレーションは行っているが、今後、事業所に特化した内容の実施も必要性が高まっていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・災害対策には「これで十分」ということがないので、様々なケースを想定してシュミレーションや訓練を重ねていく事が重要と感じる。 ・施設から全員避難を要する場合、地域住民・関係機関・団体との連携をどうしていくか検討を進めてほしい。 ・高齢者や弱者が犠牲になる事の無いよう、施設と地域が連携して訓練や対策を積み上げていく大切さを感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会との連携(連絡・応援体制)・合同訓練などを行い、有事の備えを重ねていく。 ・事業所の特性にあった、図上訓練やシュミレーション・研修などを行い、有事の備えを重ねていく。

